

12月の園だより

https://jyozan-k.com

R 4 . 1 1 . 2 5
幼保連携型認定こども園
城山幼稚園



お知らせとお願い

早いもので年の瀬のあわただしさが感じられる師走を迎える頃となりました。最近、朝夕の寒暖差も激しくなり体調を崩すお友達がいるようです。朝から体調が悪い場合は、無理に登園せずに体調を整えてから登園されるようご協力お願い致します。また、ご家庭でも手洗いうがい等を励行して、健康管理には十分気をつけ元気に過ごしていきましょう。

◆12月の予定◆

日	曜	行事及び締切など
1	木	
2	金	
3	土	土曜預かり保育
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	おたのしみ会準備 お弁当デー
10	土	おたのしみ会
11	日	
12	月	
13	火	避難訓練(防犯)
14	水	
15	木	預かり保育等封筒配布
16	金	預かり保育等納入期間
17	土	土曜預かり保育
18	日	
19	月	
20	火	サッカー体験(ゆり)
21	水	体験保育
22	木	ソーシャルワーカー来園
23	金	クリスマス会 終業式
24	土	土曜預かり保育
25	日	
26	月	冬休み預かり保育
27	火	
28	水	御用納め
29	木	
30	金	
31	土	大晦日

※平日の預かり保育は、利用週の前週の金曜日が提出期限です。

※土曜日の預かり保育は、利用週の木曜日が提出期限です。

冬休み預かり保育について

年末の預かり保育は、12月24日(土)
26日(月)
27日(火)
28日(水)
年始の預かり保育は、1月4日(水)
5日(木)
6日(金)
7日(土)

上記の日程で、希望者・冬休み預かり保育を行います。預かり保育ご希望の方は、下記QRコードからお申込み下さい。

12月2日(金) 〆切

締め切り後の受付は行いませんのでご注意ください。

※冬休み預かり保育は700円(1号認定のみ)土曜日預かり保育は(1号認定700円、2号認定300円)の14:30降園です。14:30以降の預かり保育は別途500円が必要になります。(1号認定のみ)

※送迎バスは出ません。

※不明な点は職員へお聞き下さい。



当日は、どんな姿を見せてくれるでしょうか。劇やダンス、リズム...表現することを子どもたちが楽しいと思えるよう盛り上げていきたいです♪

〇1月(前半)の日程について

- 10日(火) 始業式 ※バス運行開始
- 11日(水) 鏡開き会
- 12日(木) 記念写真撮影(全園児)
- 13日(金) ふれあい会(中止)

〇遊び着代の値上げについて

12月から遊び着代が下記の通り値上がりしますので、お知らせします。

- 遊び着(長袖) 1,300円 → 1,500円
- 遊び着(半袖) 1,200円 → 1,500円



〇高校生の保育体験について

地元の高校生、熊本西高校の生徒さんたちに、「保育体験～お仕事体験会～」の案内を出しています。少子化、核家族化が進む中、子どもたちに地域の人たち、特に少し年上の人たちと関わる経験をしてもらいたい、また高校生が赤ちゃんを抱っこしたり、小さい子どもたちと関わることで、子育てや乳幼児教育に興味を持ってもらいたいという思いで計画しました。12月の夕方16時15分～18時15分の時間帯で募集しているところです。西高生以外でも、興味がある生徒さんがいらしたらどうぞお声かけください。

おたのしみ会の意図☆☆☆

「おたのしみ会」という行事について、プリントや職員のブログ等でお伝えしております通り、この行事は「表現」と「言葉」の領域における発達を、保護者の皆様に見てもらうものです。子どもたちがどのように発達していくのか、できるだけその過程も見たいため、プログラムの順番等もこだわります。おおむね年齢によって現れる発達のポイントをおさえ、下記のような様子を見て頂こうと発表内容を構成しています。

- 0歳児・・・「保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、自ら言葉を使おうとしたり、一緒に歌ったり、手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かしたりする。」
- 1歳児・・・0歳児の表現に加え、「動物や乗り物などの動きを模倣して、体で表現する。」「普段の保育室のように舞台に並べられたいすの中から、貼ってある写真によって自分のいすを見つけて座る。」
- 2歳児・・・「みんなで一緒に仲間と群れることを楽しむようになります。日々の生活の中で「待つこと」「順番」「貸し借り」「一緒に」「我慢」などの力が付いていきます。
- 3歳以上・・・「遊び」自体が子どもにとっての「表現」。乳児から行動として表れる「表出」から、「意識して」表現するようになります。その意識が何かに刺激されての意欲。そこに大きく影響しているのが「少し年上の子からの刺激」異年齢保育で互いに多くの刺激を受けながら日々を送っている子どもたちの表現は様々です。